

中学 1 年社会科歴史的分野指導計画表・評価規準

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
4月	■持続可能な社会の実現に向けて 歴史に学ぶ (巻頭3～p.1)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的分野の学習を始めるにあたって、歴史を学習する意義について考える。 地理的分野や公民的分野との関係について理解し、教科書の目次などを基に、これから学習する歴史的分野の学習の見通しを持つ。 持続可能なよりよい社会の実現に向けて歴史を生かしていこうとする態度を身に付けるきっかけとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的分野の学習内容のあらましと学習のねらい、地理的分野や公民的分野との関係について理解している。(知技) 歴史を学習する意味について考え、歴史学習を通して過去から受け継がれた経験などを学ぶだけでなく、持続可能な社会の実現に生かそうとし、これからの歴史学習への見通しを持とうとしている。(態度)

第1章 歴史へのとびら

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1節 歴史をとらえる見方・考え方			
4月	■導入の活動(歴史の流れ) (p.6～7) 1 時期や年代の表し方 (p.8～9) 年表を読み取ろう 2 歴史の流れのとらえ方 (p.10～11) 年表にまとめよう 3 時代の特色のとらえ方 (p.12～13)	<ul style="list-style-type: none"> 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現する。 歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。(知技) 資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめることができる。(知技) 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。(思判表) 歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)
2節 身近な地域の歴史			
4月	1 テーマを決めて調査・考察しよう (p.14～15) テーマの設定 調査 考察 2 まとめと発表をしよう (p.16～17) まとめ 発表 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などに適切にまとめている。(知技) 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)

地域の歴史を調べよう			
月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
4月	◆大陸への玄関口・福岡 (p.56～57) 1 学校周辺の石碑から 2 博物館や遺跡での調査 3 年表を使った共有と考察 4 ポスターセッションでの発表	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域に残る遺跡や博物館を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。 身近な地域に残る遺跡や博物館から、地域の歴史に対する関心を高め、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調査して収集した課題に関連する情報を、年表などに適切にまとめている。(知技) ○身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表) ○身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)
	◆戦国時代の城下町・一乗谷 (p.92～93) 1 400年を経てよみがえった城下町 2 一乗谷朝倉氏遺跡資料館の見学 3 一乗谷朝倉氏遺跡での現地調査 4 城下町の工夫についての考察 5 郷土新聞の作成	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査や資料館の見学・調査を通して、身近な地域の歴史に関する情報を収集し、整理する技能を身に付ける。 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。 身近な地域に残る史跡に関心をもち、現地調査や資料館での調査を通して、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現地調査や資料館の調査から、課題の解決に関連する情報を収集し、適切に整理している。(知技) ○身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表) ○身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)
	◆会津藩の政治と産業 (p.142～143) 1 若松城にて 2 福島県立博物館での見学 3 漆器店での聞き取り調査 4 調査内容の共有と意見交換 5 レポートの作成	<ul style="list-style-type: none"> 博物館や地元の人への聞き取りを行う際に、追究する課題に対する見通しを持って調査を行い、収集した情報を整理する技能を身に付ける。 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。 身近な地域の歴史に関心をもち、博物館での調査や地元の人への聞き取り調査を通して、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○博物館や地元の人々への聞き取りから、課題の解決に関連する情報を収集し、適切に整理している。(知技) ○身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表) ○身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)
	◆多文化共生都市・神戸 (p.200～201) 1 外国文化が息づく港町、神戸 2 神戸市内のフィールドワーク 3 表を使った共有と考察 4 イラストマップを使った発信	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域に残る文化財を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現する。 身近な地域に残る文化財に関心をもち、収集した情報をまとめて、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査などの方法で地域の歴史を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付けている。(知技) ○身近な地域の歴史に関する情報を表などに整理し、その特徴を多面的・多角的に考察している。(思判表) ○身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)

		態度を身に付ける。	
◆東京大空襲の記憶を伝える (p.244~245)	<ul style="list-style-type: none"> 1 隅田川のほとりで 2 すみだ郷土文化資料館での調査 3 戦災経験者からの聞き取り調査 4 自分たちにできることの構想 5 インターネットを使った発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料館、聞き取りなどの方法で地域の歴史を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。 ● 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、歴史の反省を踏まえて今後の自分たちにできることを考察、構想し、表現する。 ● 身近な地域の歴史に関心をもち、整理した情報から、自ら課題を設定し、主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料館、聞き取りなどの方法で地域の歴史を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付けている。(知技) ○ 身近な地域の歴史の特徴を多面的・多角的に考察し、今後の自分たちに何ができるかを構想し、表現している。(思判表) ○ 身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、よりよい社会を創ろうと主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)
◆広島復興と平和への思い (p.276~277)	<ul style="list-style-type: none"> 1 旧日本銀行広島支店にて 2 広島平和記念資料館での調査 3 シュモアハウスでの調査 4 将来の広島の構想 5 調査・考察した内容の発表と提案 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な地域に残る文化財や資料館を調べ、情報を集めて年表などにまとめる技能を身に付ける。 ● 身近な地域の歴史に関する情報を年表などに整理し、比較や関連付け、現在の私たちとのつながりに着目して、よりよい社会を創っていくためにどうすべきかを考察、構想し、表現する。 ● プレゼンテーションを作成する過程を通して、地域の歴史的特徴を捉え、自ら課題を設定し、追究、解決しようとする態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域の歴史的特徴を基に、今後のよりよい地域の在り方を構想し、表現している。(思判表) ○ 身近な地域の歴史について、学習を振り返りながら、よりよい社会の実現を視野に、主体的に課題を追究、解決しようとしている。(態度)

第2章 古代までの日本 (配当19時間)

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
4月	■導入の活動 平城京が造られた背景にせまろう (p.18~19)	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物、文化財のイラストから、小学校で学習した内容を振り返る。 ● 写真や年表、絵画などの資料から、古代の時代のイメージを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) ● 古代の日本ではどのように国家が形成されたのかという探究課題に対して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。(態度)

1節 世界の古代文明と宗教のおこり

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
4月	1 人類の出現と進化 (p.20~21) 人類の出現 旧石器時代 新石器時代	<ul style="list-style-type: none"> ● 人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。 ● 土器や石器の発明によって、人々の生活が変化したことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人類の進化の過程や、人々の生活の変化を理解している。(知技)
	2 古代文明のおこりと発展 (p.22~23) 文明のおこり エジプト文明	<ul style="list-style-type: none"> ● 古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所に注目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所などの共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)

	メソポタミア文明 インダス文明		
	3 中国文明の発展 (p.24～25) 中国文明の発生 秦の中国の統一 漢の成立	<ul style="list-style-type: none"> 中国の古代文明の特徴を、様々な資料を通して理解する。 中国の古代文明が日本に与えた影響について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国の古代文明について、殷から漢までの大きな流れを理解している。(知技) 中国から日本へ伝わった文物の特徴を理解している。(知技)
	4 ギリシャ・ローマの文明 (p.26～27) ギリシャの都市国家 ヘレニズム ローマ帝国	<ul style="list-style-type: none"> ギリシャ・ローマの文化と政治や社会の仕組みの特色を理解する。 ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現在のヨーロッパ文化との関係に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真資料などを通して、ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを理解している。(知技) ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現代ヨーロッパとの共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)
	5 宗教のおこりと三大宗教 (p.28～29) 宗教のおこり 仏教のおこり キリスト教のおこり イスラム教のおこり	<ul style="list-style-type: none"> 古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。 宗教がおこった地域の特徴について位置や場所に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教、キリスト教、イスラム教の特徴を理解している。(知技) 三大宗教が成立した地域が、西アジアやインドなど、古代文明が発展した地域と重なっていることを考察し、表現している。(思判表)
	■探究のステップ (p.59)	<ul style="list-style-type: none"> 古代文明や宗教のおこりを理解し、場所などと関連付けて考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○古代文明や宗教のおこりの概略を理解している。(知技) ○古代文明や宗教のおこりについて、場所などと関連付けて考察し、表現している。(思判表) ●世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)

2節 日本列島の誕生と大陸との交流			
月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
5月・6月	1 旧石器時代と縄文時代の暮らし (p.30～31) 旧石器時代の暮らし 縄文時代の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している。(知技)
	2 弥生時代の暮らしと邪馬台国 (p.32～33) 弥生時代の始まり 国々の成立 邪馬台国	<ul style="list-style-type: none"> 弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解する。 弥生時代に日本の国家が形成されていく過程について、東アジアとの関わりに着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解している。(知技) ●中国の文献などから、国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表)
	3 大王の時代 (p.34～35) 大和政権の発展 古墳時代の文化 中国・朝鮮半島との交流	<ul style="list-style-type: none"> 大和地方を中心に国内が統一されたことを理解する。 大和政権の統一に関して、朝鮮半島の影響に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大和政権の国内統一の過程を、古墳の分布や鉄剣などの資料を通して理解している。(知技) ●大和政権の国内統一の動きが朝鮮半島との交流の影響を受けているこ

			とに着目して考察し、表現している。 (思判表)
	■探究のステップ (p.59)	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島における国家の誕生の経緯を理解し、大陸の影響と関連付けて考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本列島で国家が誕生した経緯を理解している。(知技) ○日本列島における国家の誕生について、大陸の影響と関連付けて考察し、表現している。(思判表) ●日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)

3節 古代国家の歩みと東アジア世界

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	1 聖徳太子の政治改革 (p.36~37) 朝鮮半島の動乱と隋の中国統一 聖徳太子と蘇我氏 飛鳥文化	<ul style="list-style-type: none"> 聖徳太子や蘇我氏が目指した政治や、この時代の文化の特色を理解する。 聖徳太子などの政治の特色について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●聖徳太子や蘇我氏が行った政治の特色を理解している。(知技) ●聖徳太子などの政治の特色について、隋との関係に着目して、その影響を受けたことを考察し、表現している。(思判表)
	2 東アジアの緊張と律令国家への歩み (p.38~39) 唐の成立と東アジアの緊張 大化の改新 白村江の戦いと壬申の乱	<ul style="list-style-type: none"> 大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。 7世紀の国内の情勢を、東アジアの動きに着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大化の改新と、その後の律令国家への展開を理解している。(知技) ●律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きに関連付けて考察し、表現している。(思判表)
7月・8月	3 律令国家の成立と平城京 (p.40~41) 大宝律令 平城京 地方の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 律令制度の内容を基に、古代国家の仕組みを理解する。 古代国家の仕組みについて、中国の影響に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●律令制度による古代国家の仕組みを理解している。(知技) ●律令による古代国家の仕組みについて、中国の影響と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	4 奈良時代の人々の暮らし (p.42~43) 人々の身分と負担 土地の私有と荘園	<ul style="list-style-type: none"> 奈良時代の人々の生活を理解する。 奈良時代の人々の生活について、税や土地制度に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●奈良時代の人々が様々な税を負担していたことを理解している。(知技) ●奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	5 天平文化 (p.44~45) 天平文化 奈良時代の仏教 歴史書と万葉集	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。 天平文化の特色について、遣唐使の活動に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●天平文化が国際色豊かな文化であることを理解している。(知技) ●天平文化の特色について、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。(思判表)
9月・10月・11月	6 平安京と律令国家の変化 (p.46~47) 平安京 律令国家の変化 新しい仏教の動き 東アジアの変化	<ul style="list-style-type: none"> 平安遷都によって、政治や社会にどのような変化があったかを理解する。 平安時代初めの政治について、奈良時代までの政治と比較して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。(知技) ●平安時代初めの政治について、支配領域の拡大や仏教の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	7 摂関政治の時代	<ul style="list-style-type: none"> 摂関政治や地方政治の変化から、平 	<ul style="list-style-type: none"> ●10世紀に、摂関政治や土地制度な

<p>(p.48~49)</p> <p>藤原氏と摂関政治 新しい税と国司の変化</p>	<p>安時代の政治の特色を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平安時代の政治の特色について、これまでの政治の在り方との違いに着目して考察し、表現する。 	<p>ど政治の在り方が変化したことを理解している。(知技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 10世紀の政治の在り方を、それまでの変化に着目して考察し、表現している。(思判表)
<p>8 国風文化</p> <p>(p.50~51)</p> <p>唐の滅亡と宋の商人 国風文化 浄土信仰</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国風化した文化の特色を理解する。 国風文化の形成について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮名文字の成立や文学作品などから、日本独特の国風文化の特色を理解している。(知技) 国風文化の形成について、大陸の影響に着目して考察し、表現している。(思判表)
<p>■探究のステップ</p> <p>(p.59)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本が律令国家を建設した理由を理解し、大陸の影響と関連付けて考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本が律令国家を建設した理由を理解している。(知技) 日本が律令国家を建設した理由について、大陸の影響と関連付けて考察し、表現している。(思判表) 律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)
<p>[資料から発見！] 絵巻物から古代の人々の姿をとらえよう</p> <p>(p.52~53)</p> <p>絵巻物とは？ 「伴大納言絵巻」とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵巻物の特徴を理解し、絵巻物から人々の姿を適切に読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵巻物の表現方法や読み取り方を理解し、情報を読み取っている。(知技)
<p>[もっと歴史] 現代に生きる神話</p> <p>(p.54~55)</p> <p>「記紀神話」の成立 「記紀神話」の展開 日本の神話と世界の神話 島根県と神話 宮崎県と神話</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地の神話について、神楽をはじめとした各地の伝統芸能との関係に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の神話は各地の様々な伝統芸能の中に生きていることを考察し、表現している。(思判表)
<p>■基礎・基本のまとめ 古代までの学習をふり返ろう</p> <p>(p.58~59)</p> <p>■まとめの活動 古代日本のキーパーソンはだれだろう</p> <p>(p.60~61)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古代日本のキーパーソンは誰かを考える作業を通して、古代の日本を大観し、時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代の日本ではどのように国家が形成されたかを理解している。(知技) 古代の日本でどのように国家形成されたかを、東アジアとの関わりと関連付けて考察し、表現している。(思判表) 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) *B(1)イ(イ) 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)

第3章 中世の日本			
月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
12月	■導入の活動 武士の館について探ろう (p. 62～63)	<ul style="list-style-type: none"> 年表にある事柄や人物、文化財のイラストから、小学校で学習した内容を振り返る。 写真や年表、絵画などの資料から、中世のイメージをもち、前の時代との違いを予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。(思判表) 中世ではどのような勢力の成長や対立が起こったかという探究課題に対して、学習の見通しを持って主体的に取り組もうとしている。(態度)

1節 武士の政権の成立			
累計時間	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
12月・1月	1 武士の成長 (p.64～65) 武士の登場 武士団の形成 荘園・公領での武士の役割	<ul style="list-style-type: none"> 武士が次第に勢力を広げたことを、戦乱に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 武士の成長の過程を、導入資料などから読み取っている。(知技) 武士が次第に勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	2 院政から武士の政権へ (p.66～67) 院政と武士 平清盛の政権	<ul style="list-style-type: none"> 平氏の政治の特色を、摂関政治と比較して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 源義経などの人物を中心に、源平の争いの経過について理解している。(知技) 平氏の政治の特色を、摂関政治との共通点に着目して考察し、表現している。(思判表)
	3 鎌倉幕府の成立と執権政治 (p.68～69) 鎌倉幕府の始まり 執権政治	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の特色について、主従制度や承久の乱に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の特色について、将軍と御家人の関係や幕府と朝廷の関連付けて考察し、表現している。(思判表) 文字資料から、幕府と朝廷との勢力関係、将軍と御家人との関係を読み取っている。(知技)
	4 武士と民衆の生活 (p.70～71) 地頭の支配 武士の生活 農業と商業の発達	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭や産業に着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達と、それに伴う生活の向上について理解している。(知技) 鎌倉時代の武士や庶民の生活について、地頭による荘園支配や、定期市などの産業の発達と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	5 鎌倉時代の文化と宗教 (p.72～73) 鎌倉文化 鎌倉仏教	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の文化や宗教の特色について、これまでの時代との違いに着目して考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の文化や宗教の特色について、文化の担い手の変化に関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	■探究のステップ (p.95)	<ul style="list-style-type: none"> 武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由を理解し、戦乱と関連付けて考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由を理解している。(知技) ○武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由について、戦乱と関連付けて考察

			し、表現している。(思判表) ● 武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度)
--	--	--	--

2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開			
月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1 月 ・ 2 月 ・ 3 月	1 モンゴル帝国とユーラシア世界 (p.74～75) 遊牧民の生活 モンゴル帝国の拡大 ユーラシア世界の形成	● モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸内の結び付きに着目して考察し、表現する。	● モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸の一体化とその影響に関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	2 モンゴルの襲来 (p.76～77) 二度の襲来 鎌倉幕府の滅亡	● モンゴルの襲来と日本への影響について、主従関係に着目して考察し、表現する。	● モンゴルの襲来と日本への影響について、御家人の動きと関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	3 南北朝の動乱と室町幕府 (p.78～79) 南北二つの朝廷 守護大名と地方の動き 室町幕府の支配の確立	● 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ● 室町幕府の特徴を鎌倉幕府の仕組みと比較して考察し、表現する。	● 守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。(知技) ● 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や、動乱がもたらした武士社会の変化を考察し、表現している。(思判表)
	4 東アジアとの交流 (p.80～81) 日明貿易 朝鮮との貿易 琉球王国の成立 アイヌ民族の交易活動	● 東アジアの人々の交流や結び付きを理解する。	● 日明貿易の様子、中継貿易で栄えた琉球や蝦夷地の動きなど、東アジアの人々との交流や結び付きを理解している。(知技)
	5 産業の発達と民衆の生活 (p.82～83) 農業の改良と手工業の発展 商業の発展と都市の成長 村の自治	● 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や産業の発達に着目して考察し、表現する。	● 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や商業・手工業の発達や土一揆と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	6 応仁の乱と戦国大名 (p.84～85) 応仁の乱 社会の変化と戦国大名の登場 戦国大名の支配の在り方	● 応仁の乱による社会の変化について、戦国大名の支配に着目して考察し、表現する。	● 応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	7 室町文化とその広がり (p.86～87) 室町文化 民衆への文化の広がり	● 代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。 ● この時代に生まれた文化で、現代に受け継がれているものに関心を持つ。	● 武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。(知技)
	■探究のステップ (p.95)	● 中世の日本に戦乱が多かった理由を理解し、産業の発達と関連付けて考察し、表現する。	○ 中世の日本に戦乱が多かった理由を理解している。(知技) ○ 中世の日本に戦乱が多かった理由を、産業の発達と関連付けて考察し、表現している。(思判表)

		<ul style="list-style-type: none"> ●ユーラシアの交流，武家政治の展開と東アジアの動き，民衆の成長と新たな文化の形成について，ここで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。(態度)
<p>[資料から発見！]屏風絵から中世の人々の生活をとらえよう (p.88～89)</p> <p>屏風絵とは？ 「洛中洛外図屏風」とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●屏風絵の特徴を理解し，屏風絵から人々の生活を適切に読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●屏風絵の表現方法や読み取り方を理解し，情報を読み取っている。(知技)
<p>[もっと歴史]東アジア世界の国々の交流と琉球文化 (p.90～91)</p> <p>朝貢って何だろう？ 東アジア世界の形成 明と室町幕府 東アジアを行き来する琉球の船 琉球の文化とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の朝貢体制を通して，東アジア全体で交流が生まれたことを理解する。 ●朝貢体制の中で発展した，琉球王国の成立と繁栄の様子について考察し，表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の朝貢体制によって，「東アジア世界」という大きなまとまりが生まれたことを理解している。(知技) ●琉球王国の繁栄の理由を，琉球が行った中継貿易と関連付けて考察し，表現している。(思判表)
<p>■基礎・基本のまとめ 中世の学習をふり返ろう (p.94～95)</p> <p>■まとめの活動 古代との比較から中世の特色を探ろう (p.96～97)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●古代との比較を通して，中世の日本を大観し，時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中世の日本ではどのような勢力の成長や対立が起こったかを理解している。(知技) ○中世の日本ではどのような勢力の成長や対立が起こったかについて，東アジアや民衆と関連付けて考察し，表現している。(思判表) ○中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。(思判表) *B(2)イ(イ) ○中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。(態度)

評価の観点	評価の場面・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・ 授業中に学習に取り組む態度 ・課題学習 ・各種テスト ・ワークシート ・提出物 等
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・ 授業中に学習に取り組む態度 ・課題学習 ・各種テスト ・ワークシート ・提出物 等
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に学習に取り組む態度 ・課題学習 ・各種テスト ・ワークシート ・提出物 等